

広い心を持って生きていきたい

私は「壁をこえて」の映像を見て、周りの人の間違った考えや知識で、ハンセン病患者の方はひどい差別を受けてとても辛かっただろうと思いました。

ホテルの宿泊拒否の事件でも、もう病気は治っているのに泊められないと断っていて、差別はいつまでも続いていたんだと思いました。その際に、「頑張って下さい」などの励ましの手紙だけでなく、誹謗中傷の手紙まで送られてきたと知り、なぜそんなことが書けるのかと腹が立ちました。その人たちは、自分や家族がそうなったらどうするんだと思いました。人の気持ちを考えずにそういうことを言わないでと思います。

映像では最後に、ハンセン病元患者の方から私たちにお願ひがありました。それは「世界中の人たちが友達だという広い心を持って」というものでした。「いじめとか差別とかは意味のないこと」本当にその通りだと思います。

人は一人ひとり違います。一人ひとりちゃんと良いところがあります。もちろん悪いところもありますが、それもその人の個性です。だから、広い心を持ち生きていこうと思います。

(2年 女子)